

愛知県感染症情報

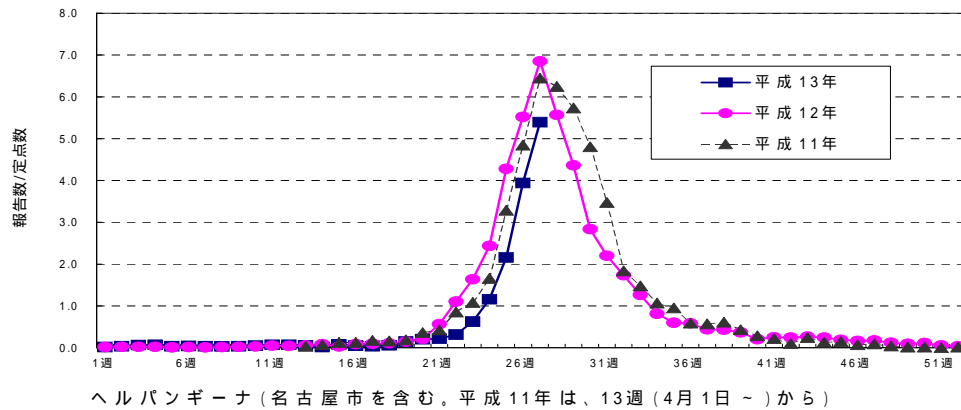
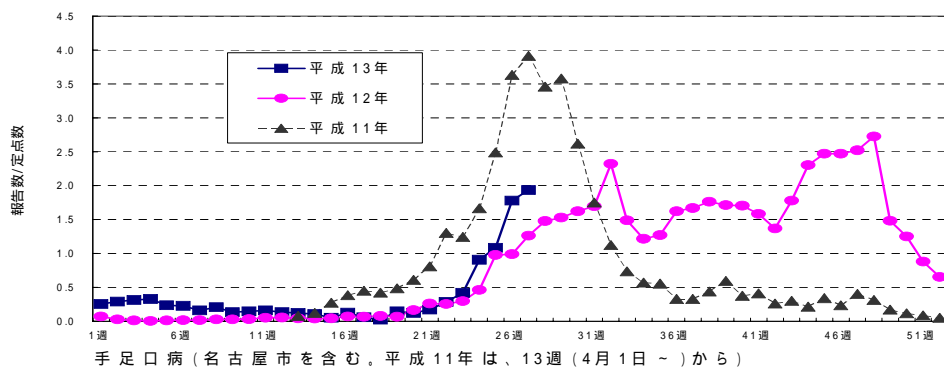
平成 13 年第 27 週（7 月第 1 週）

（コメント）

ヘルパンギーナはピークをむかえています。手足口病は流行中で、これからピークをむかえるので十分注意してください。

流行性耳下腺炎は、依然昨年より多い状況が続いています。

伝染性紅斑、咽頭結膜熱も流行中です。



（定点の先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ 水痘 1 名ワクチン歴あり 水痘流行
マイコプラズマ肺炎 8 歳女
（一宮市 後藤小児科）
- ・ 手足口病が流行しています。ヘルパンギーナも増加。
病原性大腸菌 O1 12 歳女
（尾西市 城後小児科）
- ・ 手足口病、ヘルパンギーナ多発。アデノ様発熱多し、アデノ C F 抗体上昇例もあり。

- (岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)
 - ・ ヘルパンギーナ、手足口病の流行が続いております。
 - (江南市 みやぐちこどもクリニック)
 - ・ アデノウイルス感染症と思われる熱発の患児が増えて参りました。再び手足口病の流行が見られます。
 - (春日町 丹羽医院)
- 尾張東部地区
 - ・ 咽頭結膜熱、アデノチェック陽性の扁桃炎が相変わらず多くみられます。ヘルパンギーナ流行しています。
 - マイコプラズマ肺炎 5歳女
 - (瀬戸市 津田こどもクリニック)
 - ・ ヘルパンギーナ流行続いています。アデノウイルス感染症(咽頭結膜熱を含む)も多く認められます。溶連菌感染症もまだ小流行あるようです。
 - (尾張旭市 佐伯小児科医院)
 - ・ MCLS(川崎病)3歳男。相変わらずムンプス流行中。
 - (美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院)
 - ・ ヘルパンギ-ナが先週にひきつづき多発しています。
 - (春日井市 朝宮こどもクリニック)
 - ・ 今週もヘルパンギ-ナが流行していますが、先週よりは減少した様です。
 - (春日井市 かちがわ北病院)
 - ・ ムンプス髄膜炎あり。
 - (小牧市 小牧市民病院)
- 西三河地区
 - ・ アデノウイルス感染症(チェックA 陽性) 6歳女
 - 病原性大腸菌 O1 4ヶ月男
 - (豊田市 星ヶ丘田中こどもクリニック)
 - ・ カンピロバクター *.jejuni* 男9歳。咽頭結膜熱増加。
 - 乳幼児下痢症増加
 - (豊田市 やふそ小児科)
 - ・ 病原性大腸菌 O1群とサルモネラ O8群 1歳男
 - (岡崎市 花田こどもクリニック)
 - ・ カンピロバクター 3歳女
 - 病原性大腸菌 O1 VT(-) 3歳男。手足口病多し
 - (幸田町 とみた小児科)

- ・ 手足口病ヘルパンギーナ時々あり。マイコプラズマ肺炎 6歳男
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ ヘルパンギーナ多いです。伝染性紅斑 妊婦さん1人あり。
(知立市 宮谷こどもクリニック)
- ・ 咽頭結膜熱が減少し、手足口病が増加中。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ 予防接種済みで5歳男子流行性耳下腺炎あり。ヘルパンギーナ、
流行性耳下腺炎が目立ちました。
(西尾市 山岸クリニック)
- ・ 水痘、ヘルパンギーナが流行しています。
(三好町 三好町立三好病院)
- 東三河地区
 - ・ 園でムンプスが流行しています。
ヘルパンギーナが流行しています。
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)

(1~3類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者3名

- ・ 春日井保健所から報告の3歳男。6/30発病、7/2初診、7/2診定。
菌型は、0157 VT1・2(+)
- ・ 田原保健所から報告の10歳女。6/27発病、6/29初診、7/3診定。
菌型は、0157 VT1・2(+)
- ・ 田原保健所から報告の17歳男。6/18発病、6/29初診、7/3診定。
菌型は、0157 VT1・2(+)

腸管出血性大腸菌保有者6名

- ・ 稲沢保健所から報告の26歳女。7/5初診、7/5診定。菌型は、
0157 VT1(+)
- ・ 田原保健所から報告の31歳女、6歳女、4歳男、43歳男、70歳男。
いずれも7/7初診、7/7診定。菌型は、0157 VT1・2(+)

細菌性赤痢患者2名。

- ・ 春日井保健所から報告の4歳男。6/29発病、6/30初診、7/4診定。
菌型は、ゾンネ。
- ・ 師勝保健所から報告の28歳女。7/7初診、7/7診定。菌型は、ゾ
ンネ 相。

(全数把握の4類感染症の発生状況)

- ・ オウム病患者1名。
- ・ 劇症型溶血性連鎖球菌感染症患者1名。
- ・ 急性ウイルス性肝炎B型患者1名。

第25週(6月18日～6月24日)の4類感染症の全国状況

麻疹は過去5年間の同時期と比較して定点当たり報告数がやや多い。流行性耳下腺炎は、最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が続いており、都道府県別では福井県5.8、佐賀県4.4、新潟県3.7などの報告がある。咽頭結膜熱は、最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が2000年第41週から続いており、夏の本格的なシーズンに向けて増加中である。都道府県別では滋賀県1.5、青森県、愛知県各0.6などの報告がある。伝染性紅斑の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっており、埼玉県2.8、山形県2.1、福井県1.7などの報告がある。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

- 沖縄県における麻疹流行が今年度も拡大・長期化する様相を見せているため、沖縄県は麻疹(はしか)流行阻止緊急アピールを行いました。
(厚生労働省健康局結核感染症課提供)